

令和6年度事業計画

1. 基本方針

ロシアのウクライナ侵攻や円安に伴う物価高や公共料金の高騰により、私たちの生活に暗い影を落としています。

こうした中、昨年3月に開催された野球のWBC（ワールドベースボールクラシック）において日本代表「侍ジャパン」は14年ぶり3度目の優勝を飾り、明るいニュースをもたらしました。

新型コロナウイルス感染症が、昨年5月に季節性インフルエンザと同じ5類相当に移行したのを契機に、様々なイベントが再開されてきています。当センターにおきましても、シルバーフェアやボランティア活動、各種講習会、地区懇談会などが4年ぶりに開催されるなど、少しずつではありますが、コロナ前の状況に戻りつつあります。

こうした状況や少子高齢化が急速に進展し、超高齢化社会と言われる中において、シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、高齢者の安全就業を確保し、国が定めた適正就業ガイドラインを遵守しつつ、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の受け皿としての役割が期待されています。

このため、会員及び役職員は令和4年度に策定した「基本指針（第四次）」の活動方針と目標の実現に向け、会員の増強に重点を置きながら就業機会の拡大、安全・適正就業の徹底を図り、引き続き健全な事業運営に向け取り組みを進めてまいります。

事業目標

正会員数 550 人

受注件数 4,800 件

契約金額 163,000 千円

2. 事業計画

(1) 会員の増強

国や地方公共団体、民間事業所等において、再雇用や定年延長が進み、新入会員の減少傾向が一層強くなっております。また、会員の高齢化が進み、退会会員も一定数あることを考慮すると、後継者の育成、円滑な世代交代を進める上でも会員の確保は最重点課題であり、シルバー人材センター事業を継続するために会員・役職員が協力して取り組みを進めます。会員増強に当たり最も有効な手法となる会員の口コミによる「一人一会員獲得」運動を、昨年導入した「smile to smile」や機関紙「生き生き」を活用して、会員に促すなど強化し継続していきます。

新入会員説明会は、当センターを会場とした定例の説明会のほか、北海道シルバー人材センター連合会と連携した入会説明会や、高齢者が集まる公共施設等で実施します。

また、多様化するニーズに対応するために、女性会員の入会促進を一層強化して行っていくことが重要であり、女性が入会説明会に参加しやすい雰囲気を作るなど、女性の入会促進に努めていきます。

日頃から役職員と会員とのコミュニケーションをとれる環境をつくり、退会予定の会員と面談を実施するなど、退会会員の減少に努めます。

(2) 就業率の向上

新規事業や就業場所の開拓及び拡大に努めるとともに、会員の希望就業の変更を受け、広く仕事を紹介する機会を提供するほか、講習会・研修会などを通して就業機会の拡大に努め、未就業会員の解消を図ります。

また、ローテーション就業やワークシェアリングの推進により適正かつ公平な就業機会の拡大を行います。

(3) 受注の拡大

帯広市並びに関係機関との連携強化を図り、関係団体主催のイベントにおける周知のほか、チラシや広報紙などの有効活用を行い、会員・役職員が一体となって受注の拡大に努めていきます。

会員の「一人一就業開拓」運動と一般労働者派遣事業の取り組みを継続していきます。

独自事業は、指導者の確保、後継者の育成に努め、関係機関との連携を含めあらゆる機会をとらえて周知を行い、受講生の確保に努めます。

(4) 安全就業対策

安全・適正就業委員会を中心として、発生事故の分析、再発防止策を講じるとともに、就業前のチェックリストの活用や講習会の開催、安全就業だよ

りの発行並びに安全パトロールを通じて会員の事故防止に必要な知識と技能の習得を図り、安全就業に対する自己管理能力を高めて、事故ゼロを目指していきます。

職群班会議等を利用し、安全就業対策について会員相互で協議を行います。
安全な就業を推進するため広く会員から安全標語の募集を行います。

(5) 組織の充実

「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、会員自らが自主的、主体的に組織運営を行い、会員同士が助け合う共働・共助を推進させるため地区長・班長合同会議、地区懇談会、班内会議及び職群班会議等の充実に努めます。

地域班活動は、地区長・班長を中心に担当理事、事務局が参加し、自主・自立的な組織活動を展開するとともに、理事会専門部会、各種委員会活動の活性化と機能強化を図ります。

(6) 財政基盤の確立

当センターの事業運営は、依然厳しい状況にありますが、関係機関等に対し財政支援の要請等を行うとともに効率的かつ健全な財政運営に努めます。

(7) 周知啓発活動の推進

当センター事業の仕組みや事業について、市民及び企業等に広く周知するため、ホームページの充実、広報紙、地元FM局などのメディア活用、商業施設での啓発並びにシルバーフェアなどあらゆる機会を通じ、会員・役職員が一体となり啓発を行います。

また、会員による動物園園内清掃、交通安全啓発などの地域に根差したボランティア活動を通して、シルバー事業への理解と普及に向けたPRを行います。

(8) 各種講習会等の開催

後継者の育成につながる基礎的知識や技術向上とともに会員の提案を含めた内容とするほか、新規会員の拡大に向けて各種講習会を開催します。

(予定)

講 習 会 名		講 習 会 名	
5 月	草取り講習会	9～10 月	宛名書き講習会（硬筆・毛筆）
5 月	草刈・芝刈機講習会	11 月	もっと知ろうシルバー研修会
5 月	剪定講習会	11 月	安全就業講習会

(9) 会報の発行

毎月発行のおびひろシルバー便り「生き生き」や年2回発行の広報紙「おびひろシルバー」を通じて、各種事業等、就業募集の最新情報、健康管理及び会員紹介など、親しみやすい紙面づくりを行います。

(10) 福利厚生事業

会員相互の親睦と交流が図られるようにパークゴルフ大会や新年会などの事業を行います。

(11) 「すずらんの会」の活動

女性会員で構成される「すずらんの会」は、女性の入会促進を図り、シルバーフェアにおける協力や、ボランティア活動を行います。

また、女性会員相互の親睦と交流を図るためにサロンや食事会などを行います。